

## 多摩大学グローバルスタディーズ学部 【教職課程ハンドブック（2022年度以降入学生）】

### (1) グローバルスタディーズ学部にて取得可能な免許状

- ・ 高等学校教諭一種免許状（英語）
- ・ 中学校教諭一種免許状（英語）

中学校又は高等学校の教諭の免許状を持っていると、小学校・義務教育学校前期課程・特別支援学校の小学部で、以下の内容を担当することが可能

- 保有免許状の教科に相当する教科（小学校の英語）
- 外国語活動（英語の教員免許状を有する者のみ）
- 保有免許状の教科に関する総合的な学習の時間
- 道徳
- 特別活動

★	採用実績	2017年度卒業生	私立	1名	（常勤講師）	
		2019年度卒業生	公立	2名	（臨時任用）	私立2名（常勤講師）
		2020年度卒業生	公立	1名	（新規採用教員）	
		2021年度卒業生	公立	1名	（新規採用教員）	

### (2) 教員免許状取得要件・単位修得要件

- ・ 基礎資格：学士の学位を有すること（大学を卒業せず、免許だけ取得することはできない）
- ・ 法令における最低単位修得要件

免許法施行規則に定める 科目区分	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	教科及び教科の指導法に関する科目
中学校教諭一種免許状	8	27	28
高等学校教諭一種免許状	8	23	24

- ・ 単位修得要件科目※「開講」については、2022年度の開講期等を記載

区分	科目名	開講	区分	単位数	年次	備考
教育職員 免許法施行規則第	日本の法律	春秋	必修	4	1+	
	体育	春秋	必修	2	1+	
	Listening & Speaking (FYS) I	春	必修	2	1+	

区分	科目名	開講	区分	単位数	年次	備考
66 条の 6 に定める 科目	コンピューター入門	春	必修	2	1+	
教育の基 礎理解に 関する科 目等	教職概論	春	必修	2	1+	
	教育原理	秋	必修	2	1+	
	特別活動	春	必修	2	2+	土曜
	総合的な学習の時間の指導法	秋	必修	1	3+	土曜
	生徒指導・進路指導論	秋	必修	2	1+	
	教育制度論	秋	必修	2	2+	
	教育課程総論	春	必修	2	2+	土曜
	教育方法（ICT を活用した教育の理 論及び方法含む）	春	必修	2	2+	
	教育心理学（卒業要件に含む）	秋	必修	2	1+	共通
	特別支援	夏集中	必修	2	3+	
	教育相談	秋	必修	2	3+	土曜
	道德教育論	秋	必修	2	3+	
	介護等体験実習事前事後指導	春	必修	1	3+	
	教育実習Ⅰ	春秋	必修	3	4	
	教育実習Ⅱ	春秋	必修	2	4	
教職実践演習（中・高）	秋	必修	2	4		
各教科の 指導法	英語科教育法Ⅰ	春	必修	4	3+	
	英語科教育法Ⅱ	秋	必修	4	3+	
教科に関 する専門 的事項	英語学Ⅰ	春	必修	4	2+	
	英語学Ⅱ	秋	必修	4	2+	
	意味論・語用論	隔年秋	選択	2	3+	
	社会言語学	隔年秋	選択	2	3+	
	英米文学Ⅰ	春	必修	4	2+	
	英米文学Ⅱ	秋	必修	4	2+	
	英米文学演習	春	選択	2	3+	
	Reading & Writing (FYS)Ⅰ	秋	必修	2	1+	
	Listening & Speaking (FYS)Ⅱ	秋	必修	2	1+	
	Reading & Writing (FYS)Ⅱ	秋	必修	2	1+	
	Academic Reading Skills	春秋	選択	2	2+	
	Academic Writing Skills	春秋	選択	2	2+	
	グローバル社会と北米	春秋	必修	4	2+	
	グローバル社会とイギリス	春秋	必修	4	2+	

区分	科目名	開講	区分	単位数	年次	備考
	グローバル社会とオセアニア	春秋	選択	4	2+	
	異文化間コミュニケーション論	秋	選択	4	3+	
	Discover World (Study Abroad) I	春秋	選択	2	1+	
	Discover World (Study Abroad) II	春秋	選択	2	1+	
	Discover World (Study Abroad) VI	春秋	選択	4	1+	

(3) 履修モデル (教職科目関連のみ)

学年	科目の履修例	アドバイス
1年	AEP・コンピューター入門 日本の法律・体育	・AEPは1年次で全て合格すること。 ・66-6科目は最優先で1年次で合格を目指す。
	教職概論(1+)	・1年次必須合格。
	教育原理(1+) 生徒指導・進路指導論(1+) 教育心理学(1+)※卒業要件に含む	・「教育心理学」は共通科目として卒業要件に可算される。
2年 3年	特別活動(2+) 総合的な学習の時間の指導法(3+) 教育制度論(2+) 教育課程総論(2+) 教育方法 (ICTを活用した教育の理論及び方法含む) (2+) 英語科教育法Ⅰ、Ⅱ(3+) 教育相談(3+) 道徳教育論(3+) 特別支援(3+) 介護等体験実習事前事後指導(3+)	・1+の科目を優先的に修得すること。 ・教職課程は2-3年生がピーク。単位を落とさないようにする。
	教科に関する専門的事項	2~3年の間にすべて修得すること。
4年春	教育実習	※受入先の指定で秋学期になることもある。
4年秋	教職実践演習	

※「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科の指導法」は、卒業要件単位に含まれない。

※「英語科教育法Ⅰ、Ⅱ」、「道徳教育論」、「介護等体験事前事後指導」、「総合的な学習の時間の指導法」、「特別支援」及び「教育相談」は教育実習履修許可学生しか履修できない。

(4) 教職課程行事予定

学年	実施時期	行事	注意事項
1年	4月	教職課程説明会	履修について注意事項
	9月	教職課程説明会	履修について注意事項
2年	4月	教職課程説明会	履修について注意事項 教育実習内々諾活動調査票記入
	9月	教職課程説明会	履修について注意事項
	10月下旬 ～11月上旬	介護等体験実習申し込み許可審査会	
	2月	教職課程継続許可通知	メールで通知
	2月	教育実習内諾活動説明会	教育実習依頼方法について説明
3年	4月	健康診断	
	4月	介護等体験実習申込みと実習費(介護等体験実習&教育実習)支払い	教務課から事務連絡が増えるため、Gmailのチェックを欠かさず行うこと。
	4月～7月	教育実習受入依頼(内諾面談)	
	8月～11月	介護等体験実習	実習後、体験発表会を実施予定
	9月	教員採用試験対策を始める	まずは情報収集と受験先の絞り込み
	2月～3月	教員採用試験対策講座、等	
4年	5月～10月	教育実習	実習後、発表会を実施予定
	7月	教員採用試験1次試験	
	8月	教員採用試験2次試験	
	8月～3月	免許状授与申請	
	3月	学位授与式	免許状授与

(5) 介護等体験実習について

中学免許を取得するために、介護等体験実習が必須となる。介護等体験で、福祉サービスを利用しながら自立した生活を送る方々や、その生活を支える職員、地域で活動するボランティアなど、さまざまな人とのふれあい体験、および特別支援学校での体験が、これからのみなさんの進路を考えるなかで、プラスとなるよう励むこと。

介護等体験実習は許可を得た学生のみ実施することができる。

※介護等体験実習には別途費用(実習費、その他実費)が発生する。また、実習費とは別に各福祉施設から求められる検査(細菌検査等)費用が掛かることがある。

期限までに、実習費(¥10,500)を収め、麻しんの予防接種歴、誓約書を提出することが必要。詳細はメールにて連絡する。

## (6) 教育実習について

### ① 教育実習の目的

教育実習は、学校教育の実情や教員の実務を理解し、これまで大学で身につけた知識や理論を背景に、実習校において、教育職員として必要な現場の知識や技術、態度等を身につけるための実地修練の場である。

### ② 教育実習先の開拓

教育実習は学生が自分で開拓しなければならない。実習先開拓については、2年生2月頃から開始する（東京都・横浜市は一括申請）。

### ③ 教育実習の実施時期

教育実習の実施時期は4年次の5月または6月が原則だが、実習校の都合により、他の時期に行うこともある。

### ④ 「教育実習」を履修する前に、教職に関する科目（「教育実習」及び「教職実践演習」以外）と教科に関する科目を原則すべて修得している必要がある。

### ⑤ TOEIC730 相当の英語力が求められる（中学校・高等学校ともに）。

### ⑥ 3年生春学期に教育実習費 20,000 円を徴収する（返金はなし）。

## (7) 教職課程の継続可否（教科教育法、教育実習履修可否）について

2年生終了時に教育実習履修の可否審査を行う。教育実習を履修するためには、2年生秋学期終了までに以下の条件をすべて満たす必要がある。

- ・ Intermediate Reading & Writing II、Intermediate Listening & Speaking II の単位修得
- ・ TOEIC 500 点以上（学内 IP、公開テストいずれも可）、または英語検定 2 級以上
- ・ 「教職概論」の単位修得

その他、修得単位数が著しく不良の場合、教育実習が許可されない。

## (8) 教職履修カルテについて

1年生秋学期から記載を開始する。「教職実践演習」（4年生秋学期開講）に必要となる。

## (9) 学校ボランティアについて

学校ボランティアに関する情報を随時提供する。積極的に参加することを推奨。ボランティア経験が教員採用試験の時に有利に働くことがある。

## (10) 教免採用について

新卒で各都道府県や私立学校での教員希望の学生は、早めに教職課程担当教員に申し出ること。ニーズに応じた採用対策を行う。神奈川県、横浜市、川崎市には、特別選考（大学推薦）枠がある（推薦の基準あり）。※基準について確認したい場合は、教務課に申し出ること。

## (11) 「教職支援室」の利用について

西棟 1 階に「教職支援室」が設置されている。白板、黒板を設置しているほか、教員採用関連書籍や

「教育新聞」、「教員養成セミナー」等を配架している。

(12) 教育職員免許状発行

大学が神奈川県教育委員会へ一括申請する。教育委員会への申請時に1免許状につき3,500円の申請手数料が発生することになる(中学校/高等学校1種英語の場合、2免許状となる)。

以上